



～共に、学び・高め・支え合い、
一人一人の心の中に「ふるさと入間野小」を育む学校～

狭山市立入間野小学校

学校だより
令和7年3月号
☎04-2958-2718



いるまの

<学校教育目標>

- ・仲よくする子
- ・考える子
- ・やりぬく子



季節は巡り、巣立ちの時

校長 宮原 ^{ひろのり} 礼典

先月は温かな日差しが降り注ぎ、日中はとても過ごしやすかったのですが、朝晩の冷え込みは厳しくまた22日（土）は雪がちらつくなど、暦の上ではまだ冬を感じられました。最近では、強い南風で校庭に土埃が舞ったり、登校指導ではマフラーや手袋をしている子があまり目立たなくなったりと、少しずつですが春の訪れを感じます。

いよいよ一年のまとめの月、三月を迎えました。本年度最後の懇談会には、ご多用の中、たくさんの方の保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。「一人一人の心の中にふるさと入間野小を育む学校」を、保護者の皆様、地域の方々のお力をお借りして目指し、「仲よくする子 考える子 やりぬく子」の育成に努めて参りました。この目指す児童の姿を、卒業証書を受け取った卒業生の姿、また修了証を受け取った在校生の姿でお示したいと考えています。



6年生にとっては、最後の1か月となりました。入間野小学校で過ごせるのも、残すところあと15日です。この1年間は、始業式前の準備登校からはじまり、入学式の参列、ミニバス大会、運動会、修学旅行、いるまのスクールフェスタ…など数多くの行事を粛々と行ってきました。また、常時活動である委員会活動を精力的に行い、クラブ活動では、4・5年生をリードして楽しく活動していました。なかよしタイム（縦割り活動）では、下級生に気を配りながら、みんなで楽しく遊べる活動を考えてくれました。とても素敵な6年生が卒業してしまうのはたいへん寂しいのですが、6年生を送る会で卒業生の思いを引き継いだ在校生や教職員で今まで通り、それ以上の優しさで溢れる入間野小学校を作っていきます。卒業生のみなさんは、安心して巣立ってください。

私が6年生を担当した時は、卒業する子供たちに想いを乗せて様々な曲を贈ってきました。GReeeeNの「キセキ」やレミオロメンの「もっと遠くへ」、flumpoolの「証」などです。曲を聴くとその時代を思い出し、教え子達の顔が浮かび懐かしく思います。今年の卒業生にどんな曲を贈ろうかといろいろ悩みましたがEXILEの「道」をお贈りします。『「仲間や先生方と共に歩んできた日々」という大切な時間を忘れずに、中学校という新しいステージに胸を張って踏み出して欲しい』という願いを込めました。中学生になっても仲間と協力する楽しさと大切さを忘れずに大きく羽ばたいてください。

EXILE 道

～ラストのサビ～

道、君と歩いた今日まで
かすかに 動くくちびる
特別な時間をありがとう

「心」「勇氣」「友」「笑顔」
嬉しすぎて
溢れだした
涙が とまらない



学校歯科保健コンクール

令和7年1月30日に埼玉県学校歯科保健コンクールの表彰式が行われ、狭山市では1校のみの「年間努力校」に選ばれました。これは一人あたりのむし歯保有数が少ないことや治療率が高いことなどが評価され表彰されるものです。一生使う大切な歯ですので、これからも大切にしていましょ。

